

めが見えなくても

横小四年二組 高橋 千恵子



今、この本を読みおわって私は、いつも友達や家族のみんなと笑って生きている自分が、どれだけ幸せなのかよくわかりました。

私は毎日元氣よく毎日学校に行ったり遊んだりしていることは、あたりまえのことだと思っていました。しかし、世界には学校に行きたくても行けない人達や、病気でたまたかっている人達がたくさんいることがわかりました。それは、ある大人の暗い世界から喜びを見つけた人の本に出会ったからです。

ルイは、目が見えればできたことも見えないためにできなかったのです。しかし、ある日盲学校の人が、「この曲を聞いてくれないか」と声をかけたのです。そして、ルイに「音楽クラブに入らないか」とさそったのです。でも、ルイは、「ぼくはそんな才能はない」と言っていました。

たのです。ところが、盲学校の人はこう言ったのです。「君は『ぼくなんて何をしてもできない』と思っているんじゃないか。そう思っているのなら、一度来てみてごらん」

そういわれたルイは、心の中であんなことを考えたのです。「もう、失敗するのはいやだ。音楽クラブなんかには行きたくない。うまくいくはずないじゃないか」という心と、「やってみようか、失敗したっていいじゃないか」という一つの心が行ったり来たりします。

そして、考えに考えたすえ、ルイは行くことに決めたのです。私はそこまで読んだとき、ルイはもしかしたら失敗するのではないかと少し心配になりました。その日からルイは音楽クラブに通い始めました。何回も何回も自分のパートを練習しました。そして、最初の演奏会では、みんなとみごとに音が合ったのです。「ルイ、できたじゃないか」と言われたとき、ルイはとってもうれしかったと思います。こうしてルイは明るい道をみつけたのです。

私は一番のたから物とは聞かれたら、幸せ・喜び・そして、元氣なことだと答えると思います。ルイもそうだったんだと感じました。

私は今までの体の不自由な人を見ると「たいへんだなあ」としか思いませんでした。しかし、現実にはそんなまよやましいものではないことが、この本に出会ってわかりました。目が見えない気持ち、どんなに見たくても見られない色や形。苦しいことはたくさんあるけれど、それにめげないルイの気持ちと努力は、なった人にしかわからないと思いました。

私はこの本を読みおわった時に、「よかったね」と言われてあげたりしました。だって、今までルイのやりたかったことが、とうてい手のとどかなかったことが、やればできることになったからです。私もルイにまけずにがんばろうと思います。

中 学 校 郡市陸上競技大会

6月2日三市中蒲陸上競技大会が村松町宮陸上競技場で開催されました。

当日は日中30度を越すコンディションのなか全員自分の持てる力を十分発揮し、好成績をおさめることができました。

文芸欄

(公募作品)

短 歌

陽の伸びし春耕終えて見上げれば
霞に夕日大きく沈む
(沢海) 伊藤 吉作
ピアノ弾く紅葉の様な指先に響く
音色と光る孫の目
(小杉) 小田 トキイ
口元の大き黒子に生ふる毛も白くなり
来て古稀を過ぎたり
(木津) 佐藤 安衛
ぼんやりと腰を掛け居る病院に
名前呼ばれて我にもどりぬ
(沢海) 渋谷 ウタ
ほどほどのお湯に一晩浸したる
種物は一斉に芽吹きておりぬ
(沢海) 清水 雅美

会話などほど程でよし目の合えば
笑顔うなづく耳遠きひと
(沢海) 高橋 一夫
小鳥らが狭庭に餌をついばむを
背まるめたる猫が見ている
(沢海) 田 辺 タケノ
目覚めたる後の半夜は眠剤にゆだねて
己れの空ろを埋める
(藤山) 田 村 忠雄
慈しむ育苗の芽の青みきし生命に
ひたる朝のひととき
(横越) 田 村 文彦
すこやかに伸びし背丈をあぐらしと
祖母は言いおり吾子たちのこと
(横越) 野 沢 朱美

那体育大会の主な結果

(6月8日〜9日開催)

- 〇男子V
 - 〇四百m 一位 大竹 亘
 - 55秒1
 - 〇千五百m 二位 田中一久
 - 4分29秒0
 - 〇混成競技B 三位 長瀬武瑠
 - 二、三、四七点
 - 〇女子V
 - 〇八百m 三位 丸藤修子
 - 2分34秒5
 - 〇四百mリレー(低学年) 二位 清野雅代・阿部くみ子
 - 駒沢香織・石附直美 56秒6
- 〇野 球 二位
- 〇バレーボール 女子三位
- 〇バスケットボール 男子五位、女子五位
- 〇卓球 男子団体 三位
- 男子個人 二位(北上裕規)
- 〇ソフトテニス 女子団体五位
- 個人 二位(石倉・本間組)
- 〇柔 道 団体五位
- 〇剣 道 男子団体三位

春の文化祭

さつき展と美術公募展

春の文化祭が六月四日、五日の二日間、中央公民館でさつき展、書道展などが催され鑑賞の人たちで賑わいました。

第十六回さつき展には、日頃丹精をこめて花を咲かせた七十二点が出品され、訪れた人たちの目を楽しませていました。



第16回さつき展

さつき展各部門別で見事な出来栄が競われるなか、佐藤弘さん(木津)が最優秀賞に選ばれました。各部門別優等賞は次のとおりです。

- 〇最優秀賞 佐藤 弘
- 〇競技花の部 細山 保男
- 〇大型の部 坂井 八郎
- 〇中型の部 東城 雄二
- 〇小型の部 阿部 喜一
- 〇年度別優等花の部 市村 文雄



第一回美術公募展

日本画、水墨画、書道が出品されました。第一回ということもあり、作品は少数ながら、いずれも力作が出品され、訪れた人たちの賛美の声が聞かれました。絵画部門では審査がおこなわれ、次の方が入選されました。

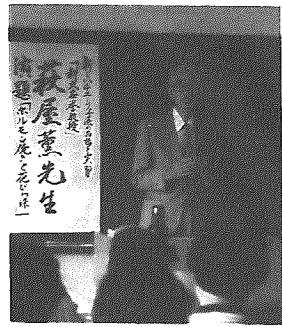
- 〇日本画の部
 - 金賞 谷井 越子
 - 銀賞 高橋 達夫
 - 銅賞 阿部 兵一
- 〇水墨画の部
 - 金賞 五十嵐勝弥
 - 銀賞 高橋 達夫
 - 銅賞 阿部 兵一

チューリップの花びらは 有効な資源

六月五日に萩屋薫新大名誉教授を講師に迎え女性教養セミナーが開催されました。

当日はチューリップ染に関心のある村外の方も含め約四十名が参加。萩屋先生からは「ホルモン焼きと花びら染」と題する講演がありました。

ホルモン焼きの由来は牛や豚の内蔵ホル(捨てる)モン(もの)を焼いておいしく食べさせるといふものである。



新潟県に日本一の生産量を誇るチューリップが生産されているにもかかわらず、花びらは捨てられている。今まではチューリップ染に一部が使われたものの、保存が効かない欠点があった。しかし、花びらを高温乾燥処理した後、真空パックすることにより一年以上も変色しない状態で保存できた。これによって年中チューリップ染を生産する事も可能となる。チューリップは多様な花色をもち天然色素を抽出して今流行の浴用剤、化粧品、食品の着色剤などの様々と活用が考えられる。この後、青柳たか子さんの指導によるチューリップ染の実習が行われました。今までは不要なものとして捨てられていたチューリップの花びらが、今後は有効な資源となる可能性が出てきました。

7月の中央公民館事業

社会教育ガイド

<会場は中央公民館>

■お菓子(おやつ)作り講座
期日 7月12日(火)
時間 午前10時
内容 バナナケーキと水まんじゅう
講師 渡辺弘子氏

■婦人大学
期日 7月14日(木)
時間 午後1時30分
内容 手話ってなあに?
講師 野口一男氏
一般参加者も受講できます

■女性教養セミナー
期日 7月16日(土)
時間 午前9時30分
内容 曾野木地区ボランティアグループとの交流会
講師 高橋ハナ氏

■菊づくり講習会
期日 7月20日(水)
時間 午後1時30分
内容 本鉢に植える管理予防ほか

社会体育ガイド

■村民プール
期日 7月10日(日) ~ 8月31日(水)

■壮年野球大会
期日 7月26日(火)から
会場 横越中学校グラウンド

■ジュニアバレーボール教室
期日 毎週水・土曜日
会場 小学校体育館ほか

■ヨーガ教室
日時 昼の部 第1・第3木曜日 午後1時30分
夜の部 第2・第4火曜日 午後7時30分
講師 伊藤千賀子
会場 中央公民館

■フォークダンス教室
期日 第2・第4金曜日
時間 午後7時30分
講師 遠藤柳子氏
会場 中央公民館

短歌募集

- ▶歌 題 自由
- ▶締 切 日 7月31日(日)
- ▶投 稿 方 法
はがきまたは封書で6首以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
- ▶あ て 先 横越村中央公民館「文芸作品係」